

## お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの記録を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

### 【研究課題名】

**肺癌に対するサルベージ手術の有効性と安全性を検討する多施設共同後ろ向き臨床研究**

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院呼吸器センター

【研究責任者】 佐野由文（呼吸器センター センター長）

【研究代表者】 清水公裕（群馬大学医学部附属病院外科診療センター呼吸器外科 診療准教授）

### 【研究の目的】

過去に受診された肺癌患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、治療方法の有効性や安全性について評価する研究を行うことといたしました。この研究は肺癌における有効な治療方法の検討を目的としたものであり、今後の診療にも役立つことができると考えています。

### 【研究の方法】

（対象となる患者さん） 2010年1月1日から2015年12月31日の6年間に以下のいずれかの場合に愛媛大学医学部附属病院で根治手術（サルベージ手術）を行った患者さん

- ・ 根治的放射線療法後に局所(原発巣またはは所属リンパ節)に遺残または再燃した場合に根治的切除を施行された症例.
- ・ 根治的放射線後に局所(原発巣またはは所属リンパ節)に遺残または再燃した場合に根治的切除を施行された症例.
- ・ 定位または粒子線治療後に局所(原発巣またはは所属リンパ節)に遺残または再燃した場合に根治的切除を施行された症例.

（利用するカルテ情報） 医療機関名，診療科，担当医師名，登録日，識別番号，性別，初回治療開始時年齢，PS，既往歴（悪性）の有無と時期（年齢），併存疾患(脳血管障害，心臓病，高血圧症，糖尿病，腎臓病，肝臓病，その他)，呼吸器併存疾患の有無と詳細，治療前肺機能，喫煙歴（本数×年数），腫瘍マーカー，組織型，原発部位（中枢・末梢 / 原発の肺葉）cTNM, cStage, 腫瘍最大径, EGFR 遺伝子変異, ALK 遺伝子転座, その他 driver mutation の有無, 治療方法(化学療法, 放射線療法, 化学放射線療法, 分子標的薬), 初回治療の手術

非選択理由（根治切除不能，手術拒否，耐術不可能），耐術不可能の理由，再発に対する追加治療の有無，放射線治療の有無および詳細（modality, 1回線量，回数，total線量，放射線治療の範囲:肺門照射の有無），化学療法の有無および詳細，初回治療効果，分子標的治療薬の有無および詳細，ステージ，分子標的薬選択時期，治療薬，化学療法との組み合わせなど，投与期間

#### 【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんのデータは、匿名化されて、EDC システムによって群馬大学医学部附属病院外科診療センターに送られます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

#### 【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<試料・情報の管理責任者> 清水公裕（群馬大学医学部附属病院外科診療センター呼吸器外科）

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

#### 【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院心臓血管・呼吸器外科 佐野由文

791-0295 愛媛県東温市志津川 454

Tel: 089-960-5331